

兵庫県保険医協会尼崎支部第51回総会のご案内

うつ病も発達障害も増えているのか？

日時 7月23日(土) 総会議事 14:30～ 記念講演 15:00～

会場 尼崎商工会議所 7階会議室

(尼崎市昭和通3-96 阪神尼崎駅から徒歩5分)

講師 精神科医 **野田 正彰** 先生

参加費 無料

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため必ず事前にお申込みください。

※ 感染拡大の状況により開催中止になる場合がございますので、ご了承ください。



1980年10月29日の毎日新聞(学芸欄)に、私は日本の精神医学は「出版精神医学」であると書いた。28万人もの人が閉鎖された精神病院に収容されているにもかかわらず、『甘えの構造』や『モラトリアム人間の時代』といった本がよく読まれていた。本は出版されても、現実の精神医学はまったく改善されてこなかった。

90年代後半になって、製薬会社と精神科による「うつ病」宣伝が始まり、「お父さん眠れている？もしかしたら、うつかも」という巨大キャンペーンが行われた。抗うつ薬、入眠剤、向精神薬の売り上げは急増していった。

こうして20年ほどが「うつ病流行」の時代となった。次にそれを追いかけるように、「発達障害、自閉症スペクトラム症」が宣伝され、注意欠陥多動性障害の薬(いわゆる覚醒剤の系統)の売り上げも急増している。さらに今春より、高等学校保健体育の教科書に40年ぶりに精神保健が復活し、精神病の予防まで宣伝されようとしている。

この現象を何と呼ぶべきか。20年ほどの年月をおいて新しい精神病が宣伝されている。流行精神医学、モード精神医学と命名したくなる。しかもそれらを突き動かしているのは、すべて向精神薬の投与である。出版精神医学からモード精神医学へ、市民として共に考えてみよう。【野田正彰 記】

野田 正彰 (のだ まさあき)：1969年北海道大学医学部卒業、長浜赤十字病院精神科部長、パプアニューギニア高地で比較文化精神医学的研究、神戸市外国語大学国際関係学科教授、ウィーン大学精神科学招聘教授、関西学院大学教授。著書：『社会と精神のゆらぎから』(2020年、講談社)、『喪の途上にて』(2014年、岩波現代文庫)、『うつに非ず』(2013年、講談社)、『犯罪と精神医療』(2002年、岩波現代文庫)

お問い合わせは、兵庫県保険医協会尼崎支部担当事務局 沖野・石本 TEL/078-393-1805 まで

fax 078-393-1802(切り放さずご返信ください) **尼崎支部第51回総会 (7/23)**

■総会議事(14:30～15:00) 於：尼崎商工会議所 7階会議室

ご出席 ご欠席 (議事の一切を議長に委任します)

■記念講演(15:00～17:00) 出席 (_____) 人

医療機関名(_____) ご芳名(_____)

TEL(_____) FAX(_____)

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

424号

2022年6月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第99回評議員会 増田評議員が発言

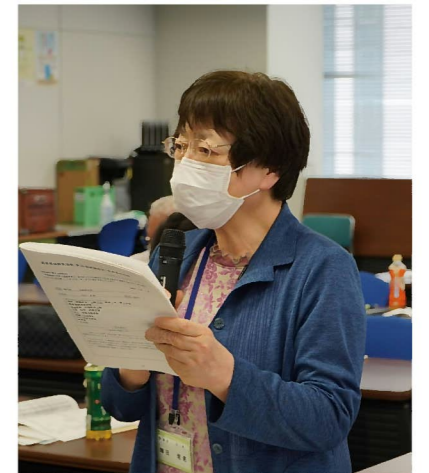
すべての子どもの窓口負担無料化を

協会が5月15日に開催した第99回評議員会で、尼崎支部から増田理恵評議員が発言した。発言の要旨を掲載する。

【発言】

「尼崎支部は尼崎社会保障推進協議会(尼崎社保協)と、中学卒業まで窓口負担無料化を求める署名に取り組んだ。1万5000筆近い署名を受け、尼崎市は7月から窓口負担を一部無料化する。市民の声で実現したが、対象は3%にも満たない。子育て世代からは、子ども全員の無料化を求める声が相次いでいる。

そこで、尼崎支部と尼崎社保協は、5月から「所得制限なしに、すべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求める新署名」に取り組むことを決めた。署名は尼崎市外の方も可能だ。ぜひご協力をお願いしたい。



署名の協力を呼びかける増田評議員

「所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料に」

新しい署名用紙とポスター7月にお届けします

増田評議員が発言で紹介している新署名について、7月には支部会員の先生方へ署名用紙と院内掲示用ポスターを送付させていただきます。是非、新署名のご協力をお願いします。(2面に新署名を掲載)

追加のご注文は、担当事務局の石本・沖野(Tel 078-393-1805)まで。



年 月 日

尼崎市議会議長 様

所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求める署名

尼崎市南武庫之荘11-12-1
尼崎社会保障推進協議会

尼崎社会保障推進協議会では、子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求めて、署名に取り組み、14000筆を超える署名を提出しました。また市議会の意見書とあいまって、子育て支援として大幅に医療費助成が拡充され、子育て中の保護者からたいへん喜ばれています。

しかし小学1年から中学3年までは所得により一部負担が存在し、通院無料は非課税世帯803人のみに限定され、全体の3%にも満たないものです。

子育て世代からは、すべての子どもへの無料化を求める声が相次いでいます。この願いは、あと1億9千万円で実現できます。

子どもの医療費が中学3年までの通院・入院とも無料の自治体は、県下41市町のうち40市町にひろがりました。2021年度では19市町で所得制限がなく、安心して医療にかかることができるようになっています。

所得制限なしに、すべての子どもがお金の心配なく安心して医療を受けられるよう、下記の事項を求めます。

1. 所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすること。

氏 名	住 所

取り扱い団体 兵庫県保険医協会尼崎支部

尼崎社会保障推進協議会 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘11-12-1 尼崎医療生協・組合員活動部内

保険医寄席特別企画(文化部・地域医療部・尼崎支部共催)

“生きづらさ”を抱えるあなたへ トークと落語の夕べ(仮)

- 日 時 10月 1日(土) 17時～ (ZOOM 併用)
- 講 師 ①尼崎市・道心寺住職・落語家・露の団姫(つゆの まるこ)氏
②京都市・こう心療クリニック院長 高 宜良(こう ういりゃん)先生
- 会 場 協会会議室

お問い合わせは Tel 078-393-1809 吉永・山田・沖野まで



第576回幹事会だより

5月26日(木) 於: わたや整形外科

- 尼崎支部の会員数
5/1 現在 医科 379人、歯科 168人
- 医療をめぐる情勢と運動対策
日経新聞のリフィル処方箋に関する記事について「患者の安全性に懸念を持つ開業医の立場と相容れない」、「日経新聞は国のプロパガンダの役割をしている」など医療情勢について意見交流した。「所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすることを求める署名」の新たな取り組みを市民に広く知らせるポスターについて討議し、7月から取り組みをスタートさせること、第51回支部総会を7月23日(土)に開催することを確認した。
- 次回日程 6/23(木) 16:00～ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩10分)

お問い合わせは Tel 078-393-1805 沖野・石本まで